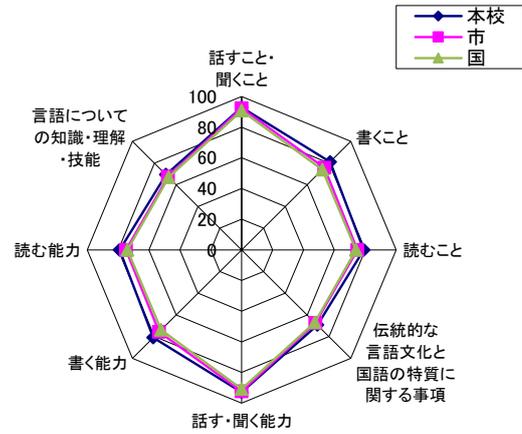


宇都宮市立宝木小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

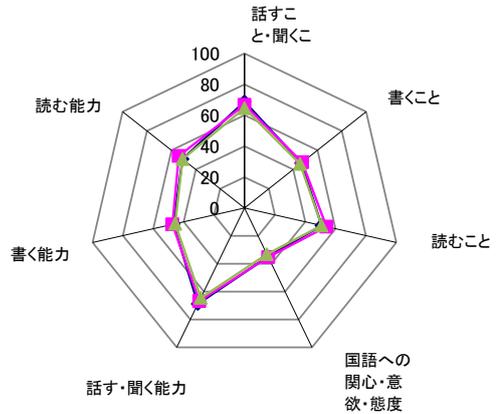
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	92.9	92.4	90.8
	書くこと	81.0	75.7	73.8
	読むこと	79.0	74.9	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.4	67.5	67.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	92.9	92.4	90.8
	書く能力	81.0	75.7	73.8
	読む能力	79.0	74.9	74.0
	言語についての知識・理解・技能	69.4	67.5	67.0



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	68.8	66.8	64.6
	書くこと	46.7	47.4	45.6
	読むこと	50.8	54.0	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	34.9	35.2	33.2
	話す・聞く能力	68.8	66.8	64.6
	書く能力	46.7	47.4	45.6
	読む能力	50.8	54.0	50.8
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、A・B問題ともに全国の平均と比べてやや高い。 ○「話し合いの様子の一部」を理解する問題の平均正答率は、全国平均を8.2ポイント上回っている。 ●B問題の「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」問題の平均正答率は、全国の平均とほぼ同じであった。	・国語科を中心に、各教科、領域の中で話し合いの活動を多く取り入れる。その際、自分の考えと比較しながら聞いたり、意見を明確に述べる場を設定したりして指導していく。 ・聞くことの学習機会を増やして、話し手の発言の意図を考えながらポイントをつかんで話を聞けるように指導していく。
書くこと	A問題の平均正答率は、全国の平均と比べて高い。 ○「紹介する文章を基にしておすすめする文章を書くときの工夫」を問う問題の平均正答率は、全国平均を7.8ポイント上回っている。 ●B問題の「目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える」問題の平均正答率は、全国の平均を7.6ポイント下回っている。	・いくつかの条件を満たしながら、決められた字数内で自分の意見を書き表すことができるように、テーマに沿った文章を書く指導を継続して行う。 ・自分の意見や考えを書く時間を設定し、書くことに慣れさせるとともに、目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書く指導を継続していく。
読むこと	A問題の平均正答率は、全国の平均と比べて高い。 ○「登場人物の心情について、情景描写を基に捉える」問題の平均正答率は、全国の平均を6.2ポイント上回っている。 ●B問題の「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む」問題の平均正答率は、全国の平均を5.0ポイント下回っている。	・読み取り指導を行う中で、全体の場面の様子の理解や移り変わり、登場人物の心情の変化を考えさせる指導を継続して行う。また、目的に応じて必要な情報を選び、文章の内容を的確に押さえられるように指導していく。 ・朝の読書や家庭での読書を推進し、量、質ともに内容を充実させていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	A問題の平均正答率は、全国の平均と比べてやや高い。 ○「日常生活で使われている慣用語の意味を理解し、使う」問題の平均正答率は、全国の平均を4.0ポイント上回っている。 ●「文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く」問題の平均正答率は、全国の平均を1.4ポイント下回っている。	・定期的に主語と述語のプリント学習を取り入れていく。 ・読む力を向上させるために宿題等で音読を推進し、主語・述語を意識した読みができるように指導をしていく。 ・漢字ドリルやプリントを活用し、漢字を正しく書いたり読んだりする指導を継続する。 ・言葉の意味調べや熟語調べ、ことわざや慣用語調べができるような時間を意図的に設けていく。